平成29年度青果物輸出促進緊急対策事業

産地と輸出業者が連携する販売促進活動報告

セントライ青果株式会社

平成29年度青果物輸出促進緊急対策事業
カナダ（バンクーバー・トロント）日程表　2018／9／26⇒2018／10／2

日付	移動手段	日程		宿泊先
9月26日 （水）	JL3084	中部国際空港集合	成田国際空港集合	バンクーバー泊
	こだま650 成田エクスプレス35	中部国際空港 14:50 ✈ 成田国際空港 16:00	袋井駅 12:45 ⇒ 掛川駅 13:05 ⇒ 東京駅 15:03 ⇒ 成田空港第2 15:53	THE LISTEL HOTEL
	JL018	成田国際空港 18:20 ✈ バンクーバー11:15 着後バンクーバー市内視察		
9月27日 （木）	AC110	バンクーバー 10:00 ✈ トロント 17:25		トロント泊 HILTON TORONTO
9月28日 （金）		トロント市内視察		トロント泊 HILTON TORONTO
9月29日 （土）		トロント市内視察		トロント泊 HILTON TORONTO
9月30日 （日）	AC107	トロント 10:00 ✈ バンクーバー 12:02 着後バンクーバー市内視察		バンクーバー泊 THE COAST COAL HARBOUR HOTEL
10月1日 （月）	JL017	バンクーバー 14:15 ✈		機内泊
10月2日 （火）	JL017	✈ 成田国際空港 16:30		
	JL3087 成田エクスプレス42 こだま683	成田国際空港 18:35 ✈ 中部国際空港 19:50	成田空港第2 17:47 ⇒ 東京駅 19:26 ⇒ 掛川駅 21:22 ⇒ 袋井駅 21:29	

■概要

販売促進期間	9月21.22.23日　9月28.29.30日
販促実施店舗 （カナダ・トロント）	1. Foody Mart Warden
	2. Winco Foods
	3. Sunny Supermarket
	4. BESTCO
	5. Foodymart HWY7
販売品目	静岡クラウンメロン
販売数量	300玉
販売価格	88カナダドル/個

■活動内容・状況

今回販売した店舗はすべて中国系の量販店であったため、中秋節の需要に合わせ予定より一週間前倒しで実施した。販売価格は1個88カナダドル（日本円で7200円程度）で、カナダでのクラウンメロンの価格としては比較的安い売価設定である。販売店舗では試食を中心にポップの掲示や産地のDVDを流して販促活動を行い、クラウンメロンは“日本で最も有名なメロン”であることをアピールした。どの店舗でも試食の反応は大変良く、食味に関しては現地の消費者にも好まれることを確信した。期間中に用意していた300玉はほぼ完売となり、日本産果実が注目されている手ごたえを感じることができた。

ただ、試食をされたお客様の中には追熟し果肉が柔らかくなることに抵抗がある様子も伺えた。また、大半の店舗では「価格が高い」との声も多く聞かれた。今回販売した店舗のメロンは、赤肉系のキャンタループ種が大半を占めていたが、品質はすばらしいとは言えないものであった。品質面でいえば、一年を通して専用のガラス温室（スリークォーター型温室）と隔離ベッドで栽培を行い、一木一果にこだわって生産されているクラウンメロンとは比較対象にならない。価格面でも、現地のメロンは3カナダドル程で販売されており、価格に大きく開きがある。

■活動内容・状況

　これらの点をふまえ、まずは中国系の富裕層をターゲットにした販売戦略として春節・中秋節・クリスマス時期に商談を進めていき、年中行事に係る贈答やお供え用の果物として定番化することを目標とする。将来的にはこの動きが中間層にも広まっていくことを期待したい。また、現地の果物は「安価」で「いつでもどこでも食べられる（例えば軽食として）」という特徴があり、高級志向のジャパンブランドは浸透しにくい背景がある。しかし、カナダの量販店全般（中国系・カナダ人向け）では、現在日本からの輸入品はほとんど無いため、輸出を加速化させる中で、市場を変えていく余地は十分にある。

　既存の果物や人々の果物に対する概念とは一線を画すような「ジャパニーズフルーツ」の魅力を発信し、差別化を図っていくことで、クラウンメロンを含め日本の果物を身近に感じてもらえるような販売戦略を今後進めていきたい。

1. Foody　Mart　Warden

＊中国系の店舗。客層は中国人が多く、集客も良い。
＊陳列はきれいだが、果実・野菜ともに山積みされているため、大衆向けの店舗という印象。
＊オーガニック商品が多く陳列されていた。
＊客の反応はすばらしく良かったが、88ドルは高いとの声が多く聞かれた。

2. Winco Foods

＊中国系の店舗。中国系の量販店では一番売れる店であり、今回販売の約半分はこの店舗で販売している。
＊客の入りが絶え間なくあり、集客度はとても良い。高価なものも売れていた。
＊陳列は野菜・果実ともに山積み売り。

3. Sunny Supermarket

＊中国系の店舗。客の入りは良く、従業員の活気もあった。
＊試食は多く出たが、高いとの声が多く聞かれた。
＊価格帯はやや安めの設定だった。

4. BESTCO

＊中国系の高級スーパー。日本のメロンは珍しいとのことで、試食も盛況であった。

5. Foodymart HWY7

＊中国系の店舗。少しカナダ人の客も見られた。高級な物も売れている様子。